



IT Holdings

第3期中間(第2四半期)
営業のご報告

平成22年4月1日～平成22年9月30日

B u s i n e s s R e p o r t

ITホールディングス株式会社

証券コード：3626

P r o f i l e

プロフィール

ITホールディングスグループは、2008年4月に誕生した業界2位グループの総合IT企業集団です。幅広い業種に強みをもつTIS、インテック、ソラン、クレジット・信販業に強みを持つユーフィット、BPOビジネスのリーディングカンパニーであるアグレックス、製造業に強いクオリカ、製造・医療関連に強いAJSの主要7社を中心として、それぞれ個性を持った企業群で構成されています。各社の特性を活かしながらグループ総合力を発揮し、高い競争力をもって常に進化し続けるIT企業グループを目指し、第一次中期経営計画「IT Evolution 2011」を推進・実践しています。

※TIS、ソラン、ユーフィットは、2011年4月に合併する予定です。
(詳細は6ページをご覧ください。)

C o n t e n t s

プロフィール	1
株主のみなさまへ	2
ITホールディングスのソリューション	3~4
ニューストピックス	5~6
連結財務諸表のポイント	7~10
ITホールディングス グループフォーメーション	11
会社概要	12
株式の状況	13
株主メモ	14

(注)記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

株主のみなさまへ

株主のみなさまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。ここに第3期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)第2四半期の営業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期の情報サービス業界の事業環境は、日銀短観におけるソフトウェア投資額の当年度計画は前年度を上回る状況にはあるものの、一部を除いてはIT投資に慎重な姿勢が続くなど、厳しい状況にありました。

こうした環境のもと、当社グループでは中期経営計画に基づき、「事業拡大」「経営の効率化」「グループフォーメーションの整備」の重点施策に取り組みました。営業面のシナジーでは、グループ各社がクロスセールスを推進し、共同受注金額を前年同期比4倍に拡大したほか、グループの業務知識、技術力を活かした新規事業として、クラウドテレフォニー事業を立ち上げました。同サービスはすでに大手のお客さまにご採用いただいております。

また、グループマネジメント体制改革の次段階として、来年4月にTIS、ソラン、ユーフィットの3社が合併する方針を決議しました。本合併は、得意分野であるクレジットカードなど金融業向けシステムの構築、運用事業やデータセンターの有効活用などにより、当社の一段の企業価値向上につながるものと確信しております。

株主・投資家のみなさまには、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成22年12月



代表取締役会長

代表取締役社長

中尾 雄

岡本 晋

あなたのそばにITホールディングスグループの様々なソリューション

あなたの街から宇宙まで、ITホールディングスグループはみなさまの生活を支える様々なソリューションを提供しています。

豚のトレーサビリティシステム

RFID*を利用し、豚一頭ごとの生産から出荷・加工までの履歴管理をしています

養豚場

学校費用口座振替サービス

給食費や教材費等の費用をまとめて口座振替を行う請求事務などの管理業務を支援しています

学校

企業の社員証 ICカードシステム

社員証の発行や勤怠管理のためのシステムを提供しています

会社

インターネットを利用した 生涯学習システム

地域のみなさまがインターネットを通じて生涯学習をできる場を提供しています

自宅

ガス会社の料理教室の 顧客管理システム

料理教室のスケジュールや顧客情報管理などを担っています

料理教室

図書館業務支援サービス

書物のデジタル化による保存・公開サポートなど図書館のバックオフィス運営を支援しています

図書館

製品仕様書 トレーサビリティシステム

みなさまの食の安心につながる情報基盤を提供しています

ファーストフード店

高速道路向け 監視制御システム

高速道路などの監視システムの開発を担っています

道路

研究所

CRO(医薬品開発業務受託機関) サービス

医薬品の開発に関する様々な要求に対応すべく、効果的なサービスを提供しています

人工衛星運用管制システム

人工衛星を遠隔制御、監視するシステムを手掛けています

人工衛星



銀行業務システム

銀行業務システムのエキスパートが開発から運用・保守まで幅広くサポートしています

銀行



総合行政情報システム

業務の効率化と住民サービスの向上を目指す地方自治体の電子化をサポートしています

市役所・町役場



クレジット基幹業務システム

一連のクレジットカード業務を基幹システムで構築し、高セキュリティのもと保守・運用しています

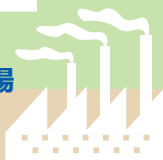
デパート



工場の生産管理システム

工場の受注出荷や在庫などの管理を支援しています

工場



総合行政情報システム

ITホールディングス(ITHD)グループは、電子自治体の推進をサポートすることで住民のみなさまへのサービス向上に貢献しています。税金のコンビニ納付やクレジット支払い、証明書のコンビニ交付などの24時間窓口といった機能のほか、庁内の各業務システムを連携させ、引越しの手続きや証明書の発行などの手続きをワンストップで完了できるシステムも提供しています。

学校費用口座振替サービス

ITHDグループは、給食費や教材費など学校運営に必要な費用の徴収をサポートしています。このサービスにより口座振替を利用した徴収が容易になり、保護者にとっては、お子さまが現金を持ち歩くことによる紛失や盗難の不安が解消され、学校にとっては、集金のとりまとめや請求・入金事務の作業負担が軽減されます。現在このサービスは約110校でご利用いただいています。

人工衛星運用管制システム

ITHDグループは、宇宙航空研究開発機構(JAXA)様が打ち上げた人工衛星を地上から遠隔で監視・制御するシステムを開発しています。近年では準天頂衛星初号機「みちびき」や陸域観測技術衛星「だいち」、温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」などこれまでに30機近くの人工衛星の運用を支援しています。また、この技術を応用し国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」を地上から遠隔で監視するシステムを開発しました。現在は、そのシステムを活用し「きぼう」の運用も支援しています。

ニューストピックス

ITホールディングスグループのニュースをピックアップしてご紹介します。

！ インテック、「インテック万葉スクエア」竣工

株式会社インテックは、7月20日、富山県高岡市に、データセンターを備えた開発拠点「インテック万葉スクエア」を竣工しました。名称の「万葉」は、歌人・大伴家持が越中守としてこの地に赴任し多くの秀作を詠んだことや、万葉集の名の由来とされる「万代」「万世」の意と合わせて、お客さま、地域のみなさまとともに永く発展していく思いを込めています。現在建設が進められている北陸新幹線の新高岡駅(仮称)に隣接しています。



インテック万葉スクエア外観

！ ソラン、スマートフォンによる次世代観光ナビゲーションサービスを開始

ソラン株式会社は、このたびスマートフォンのGPS*1機能とAR(拡張現実)*2機能を用いた観光ナビゲーションサービス「SKYWARE(スカイウェア)」の提供を始めました。9月に長野県松代町で実証実験を開始しました。この実験で同社は、サービス配信プラットフォームと、「SKYWARE」を提供しています。増加する訪日外国人観光客に対応し多言語機能も導入しています。来年4月から本格的なサービスを開始する予定です。



サービス画面イメージ

- *1 GPS(全地球測位システム):人工衛星を利用して自分が地球上のどこにいるのかを正確に割り出す。
- *2 AR(拡張現実):現実の環境から知覚に与えられる情報に、コンピュータが作り出した情報を重ね合わせ、補足的な情報を与える技術。

ITホールディングスグループ、『クラウドテレフォニー』事業開始

ITホールディングスグループは、7月、電話機・電話網の「音声」とWebとを融合させた高度な音声コミュニケーションをクラウドサービスとして提供する『クラウドテレフォニー』事業を開始することを発表しました。

これを受け、TIS株式会社と株式会社インテックは共同でSaaS型着信管理サービス「Callノート」、Web・電話連動型顧客接点強化ソリューション「Callクレヨン」の2つのサービスをスタートさせました。両サービスの特徴は、仮想電話番号を発行し、Webに組み込むことで様々な情報を取得す

ることができる点です。本サービスはともに大手Web事業会社様にて採用されています。



Callクレヨンの利用例

TIS、ソラン、ユーフィット合併基本合意書を締結

10月5日、連結子会社であるTIS株式会社、ソラン株式会社、株式会社ユーフィットは来年4月1日に合併することを定めた基本合意書を締結しました。

当社は、「“グループフォーメーションの整理・強化”を柔軟かつ機動的に継続実施する」という基本戦略のもと、これまで共同受注案件の獲得や共通機能部分の効率化によるコスト削減などを推進して

きました。今回の取り組みは、この戦略を一層加速・強化するものです。今回の子会社合併で、得意分野であるクレジットカードや銀行、証券、保険業などの金融業向けシステムの構築・運用事業を中心にエンジニアの活動領域の拡大、データセンターなどのリソースの有効活用、財務体力強化を推進していきます。

▶ 他のITHDグループニュースは、当社ホームページ(<http://www.itholdings.co.jp/news/>)をご覧ください。

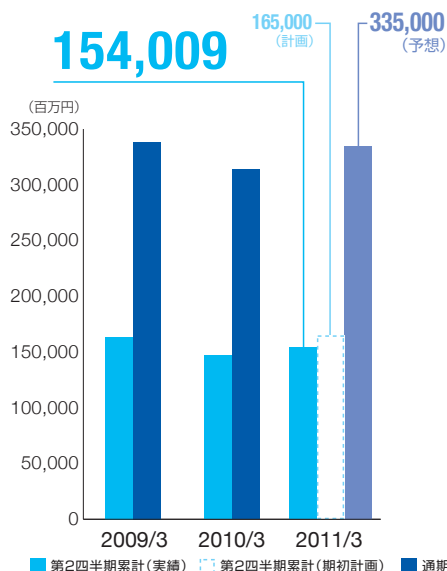
連結財務諸表のポイント

決算ハイライト

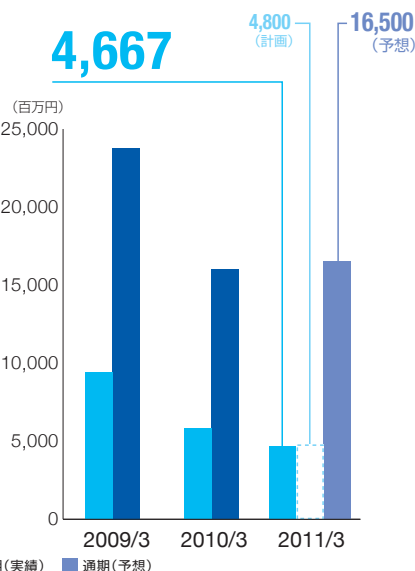
当社グループは、2011年3月期第2四半期連結累計期間の業績として、売上高1,650億円、営業利益48億円、四半期純利益8億円を計画していました。

売上高は顧客のIT投資抑制の影響を受けましたが、利益については売上高減少の影響を受けたものの、コスト削減の徹底や厳しい事業環境に適応するための経営体質改善を推進したことにより、ほぼ期初計画通りの結果となりました。

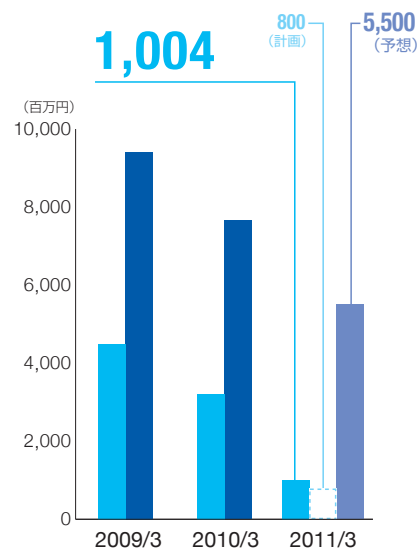
売上高



営業利益



当期純利益



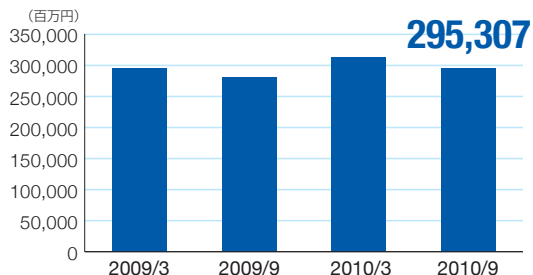
第一次中期経営計画 「IT Evolution 2011」の取り組み状況

- 「サービス化」「グローバル化」の環境変化を見据え「グループ事業シナジー」で挑む計画を着実に遂行
- 売上高4,000億円、ROE10%の目標に向けた挑戦

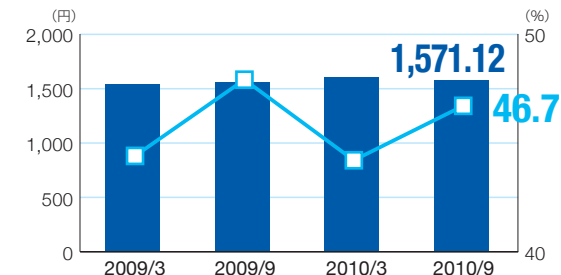
今期予想のポイント

- グループ事業シナジーを活かし増収、増益（営業・経常利益ベース）を計画
- 当期純利益の減益予想は、資産除去債務* 22億円（特別損失）の影響
*今期より導入された新会計ルールによる一過性の要因

総資産

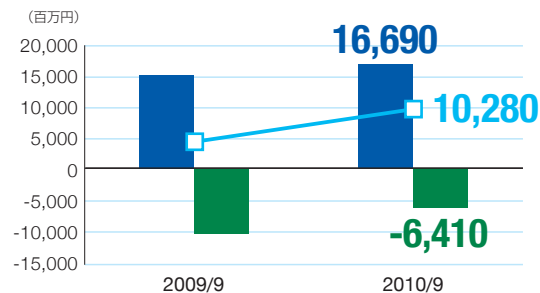


1株当たり純資産額 / 自己資本比率



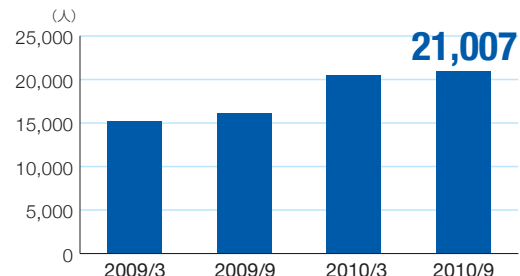
■ 1株当たり純資産額(左軸) □ 自己資本比率(右軸)

営業活動によるキャッシュ・フロー 投資活動によるキャッシュ・フロー / フリーキャッシュ・フロー



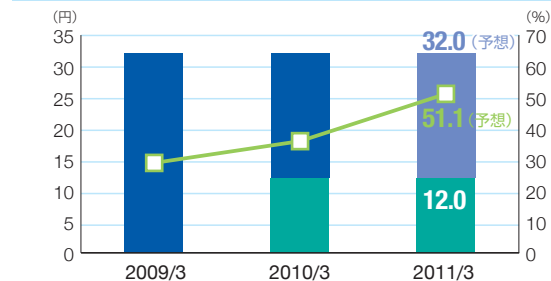
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー □ フリーキャッシュ・フロー

従業員数



※従業員数は就業人員です

配当金 / 配当性向



■ 配当金(第2四半期末) ■ 配当金(通期) □ 配当性向(右軸)

株主還元方針

株主のみなさまへの長期的かつ総合的な利益還元を重要な経営課題と認識し、業績動向や財務状況、事業発展に備えるための内部留保の充実を勘案しつつ、安定的な配当を継続するよう努めています。当第2四半期末の配当は12円とさせていただきます。

損益計算書ハイライト

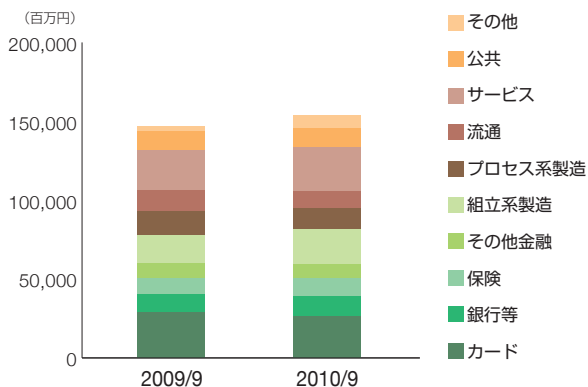
	前第2四半期 連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	(百万円) 増減率 前年同期比
売上高	146,954	154,009	4.8%
営業利益	5,805	4,667	△19.6%
経常利益	5,792	4,762	△17.8%
四半期純利益	3,207	1,004	△68.7%
売上高営業利益率	4.0%	3.0%	
1株当たり四半期純利益(円)	37.60	11.44	

2009年12月に子会社化したソラン株式会社の業績が反映されたことにより増収となりました。

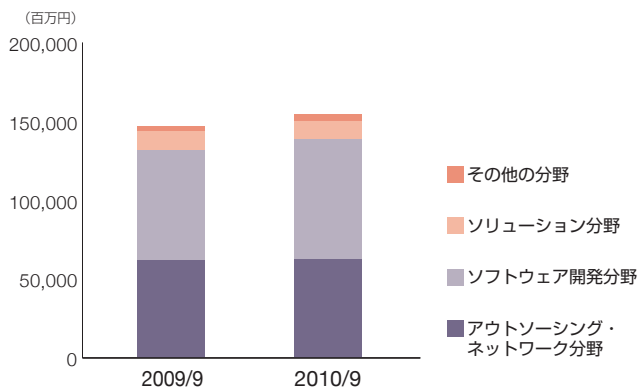
資産除去債務に係る特別損失22億円(今期の特殊要因)を計上し、四半期純利益は減益となりました。

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

顧客事業分野別売上高



事業分野別売上高



貸借対照表ハイライト

	(百万円)		
	前期末 平成22年3月31日	当第2四半期末 平成22年9月30日	増減率 前期末比
流動資産	141,967	126,685	△10.8%
固定資産	171,109	168,621	△1.5%
流動負債・固定負債	158,001	142,991	△9.5%
純資産	155,075	152,315	△1.8%
総資産	313,077	295,307	△5.7%

短期借入金の減少と社債の償還により流動負債・固定負債は減少しました。

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

キャッシュ・フロー計算書ハイライト

	(百万円)		
	前第2四半期 連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	増減額 前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,012	16,690	1,678
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,421	△ 6,410	4,011
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,736	△ 18,288	△12,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,987	38,982	4,995

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

今期の見通し

当社グループの売上高は、上期(第2四半期累計)は計画を下回る結果となりましたが、10月に入って商談や案件の引き合いが活発化してきていることなどから、下期(第3四半期以降)の売上高は期初計画通りに推移すると見込んでいます。このため、通期の売上高計画を3,460億円から3,350億円と上期実績の計画差異相当分引き下げることとしました。

一方、利益については、上期に計画水準並みを確保できていることに加え、下期も売上高が計画通りに推移すると見込んでいることから、期初の通期利益計画を据え置きます。

▶より詳細な財務情報は、当社ホームページ(<http://www.itholdings.co.jp/investors/>)をご覧ください。

ITホールディングス グループフォーメーション

(平成22年10月1日現在)

国内



主要事業会社名	連結子会社		事業内容
	国内	海外	
TIS株式会社	2	3	金融・製造・サービスなどに幅広く展開。基幹系システムの開発からデータセンターサービスまでワンストップで提供。
株式会社インテック	11	0	金融・製造・流通・医療・公共など多様な業種に強み。コンサルティング、開発から運用、ネットワークサービスまでトータルで提供。
ソラン株式会社	11	3	金融・製造を中心に通信、公共とバランスよく展開。宇宙システム開発も。
株式会社ユーフィット	2	0	クレジットカード、信販などに強み。運用中心。
株式会社アグレックス	6	0	日本のBPOビジネスのリーディングカンパニー。東証第一部上場(4799)
クオリカ株式会社	0	2	製造業、流通・サービス業に強み。
AJS株式会社	2	0	製造業・医療関連分野に強み。

海外

英特克信息技术(武漢)有限公司(インテック武漢)

高律科(上海)信息系统有限公司(クオリカ上海)

TIS R&D Center, Inc.

提愛斯数碼(上海)有限公司(TISI上海)

TKSOFT SINGAPORE PTE. Ltd.

天津市雷智信息技术有限公司(天津市雷智)

天津索浪数字软件技术有限公司(天津ソラン)

天津提愛斯海泰信息系统有限公司(天津TIS海泰)

北京索浪计算机有限公司(北京ソラン)

※ITホールディングスグループは、ITホールディングス株式会社および上記を含む子会社、関連会社等全80社で構成されています。

会社概要

概要

(平成22年9月30日現在)

商号	ITホールディングス株式会社 IT Holdings Corporation
設立	平成20年4月1日
事業内容	グループ会社の経営管理ならびに それに付帯する業務
資本金	100億円
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部上場（証券コード：3626）
グループ従業員数	21,007名（従業員数は就業人員です）

役員

(平成22年9月30日現在)

代表取締役会長	中尾 哲雄
代表取締役社長	岡本 晋
取締役副社長	前西 規夫
取締役副社長	滝澤 光樹
取締役相談役	北川 淳治（ソラン株式会社 代表取締役会長）
取締役	藤宮 宏章（TIS株式会社 代表取締役社長）
取締役	金岡 克己（株式会社インテック 代表取締役社長）
取締役	千年 正樹（ソラン株式会社 代表取締役社長）
取締役	小田 晋吾
取締役	石垣 禎信
常勤監査役	土家 瑞生
常勤監査役	林 唯政
監査役	伊藤 醇（公認会計士・税理士 伊藤醇事務所 代表）
監査役	武内 繁和（武内プレス工業株式会社 代表取締役社長）

※1：取締役 小田晋吾氏および石垣禎信氏は、社外取締役です。

※2：監査役 土家瑞生氏、伊藤醇氏および武内繁和氏は、社外監査役です。

事業所

東京本社	〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル TEL(03)6738-8100 FAX(03)3503-2551
富山本社	〒930-0856 富山市牛島新町5-5 TEL(076)444-8011 FAX(076)444-8012



東京本社



富山本社

株式の状況

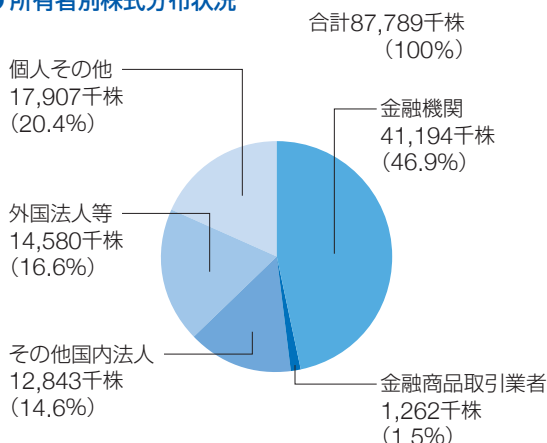
(平成22年9月30日現在)

● 発行可能株式総数 280,000,000株

● 発行済株式の総数 87,789,098株

● 株主数 17,883名

● 所有者別株式分布状況



● 大株主の状況

株主名	所有株式数 (千株)	所有比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,642	8.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,475	7.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,121	3.6
日本生命保険相互会社	2,591	3.0
全国共済農業協同組合連合会	1,909	2.2
ITホールディングスグループ従業員持株会	1,785	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,747	2.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,654	1.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・三菱電機株式会社口)	1,598	1.8
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,352	1.5

▶ ホームページのご案内

ITホールディングスに関する様々な情報は、ホームページでご覧いただけます。

ITホールディングスのホームページでは、株主・投資家のみなさま向けに、最新の会社情報や財務関係資料など、お役に立つ情報をお届けしています。

<http://www.itholdings.co.jp/>



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中
基準日 3月31日
(定時株主総会において議決権を行使すべき株主の確定日。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。)

配当金支払株主確定日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
公告の方法 電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由のため電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
電子公告掲載URL
<http://www.itholdings.co.jp/pn/>

単元株式数 100株

株主名簿管理人および 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話0120-232-711 (通話料無料)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

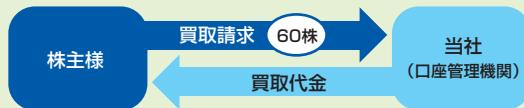
●単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(1~99株)については市場で売買することができませんが、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求(売却)または買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法等については、口座管理機関(証券会社等)*にお問い合わせください。

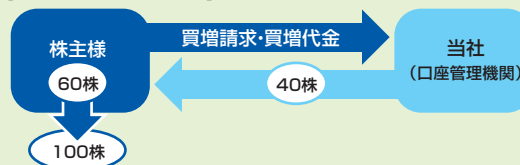
※特別口座に記録されている株式については、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)までお問い合わせください。

(例)株主様が60株ご所有の場合

【買取請求(売却)の場合】



【買増請求(購入)の場合】



●特別口座をご利用の株主様へ

特別口座に記録されている単元株式については、特別口座のままでは売却できません。株式の売却等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお薦めします。なお、お手続きの方法等については、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)までお問い合わせください。



IT Holdings

ITホールディングス株式会社

東京本社 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル TEL(03)6738-8100 FAX(03)3503-2551

富山本社 〒930-0856 富山市牛島新町5-5 TEL(076)444-8011 FAX(076)444-8012

<http://www.itholdings.co.jp/>



ITホールディングスグループ